

マーケットの動き（2024年9月9日～9月13日）

先週の為替市場は、前週末比で米ドルは対円で下落（円高）しました。
週前半は米国長期金利が低下したことから日米金利差の縮小が意識され円買い・米ドル売りが優勢となりました。11日発表の米国CPI（消費者物価指数）のエネルギーと食品を除くコア指数が市場予想を上回ったことから円は伸び悩む場面もありましたが、週末の米国金融当局者らの報道を受け、再度大幅下落観測が強まり、140円台後半まで円買い・ドル売りが広がりました。
ユーロは前週末比、対円・対米ドルで下落しました。

投資環境見通し（2024年9月）

円に対して米ドルはレンジ内で強含み、ユーロはレンジ内で推移

米ドル：7月中旬以降の円高ドル安の動きの中で、日米金融政策の方向性の違いについては相当程度織り込まれたとみられます。ドルは円に対して、調整一巡後はレンジ内で強含みで推移するとみています。

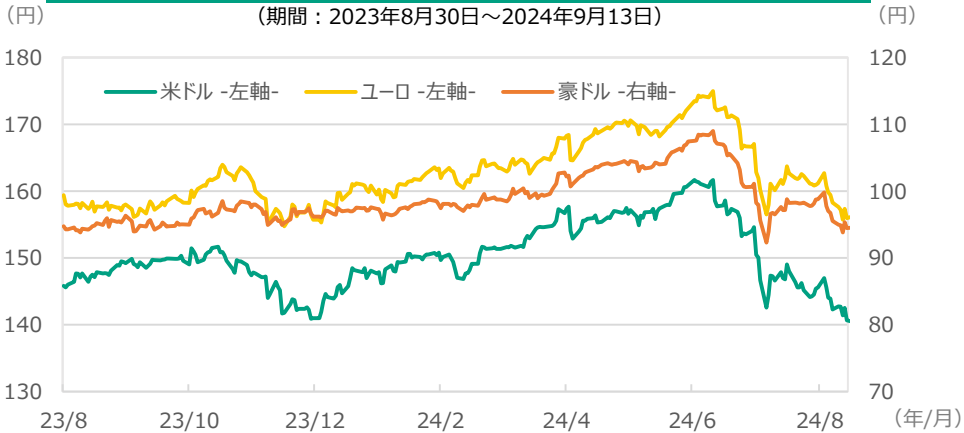
ユーロ：日欧の金融政策の方向性の違いについては相当程度織り込まれたとみられ、ユーロは円に対してレンジ内で推移するとみています。ただし、ユーロ圏景気の回復が緩慢なことはユーロ安要因とみています。

	9月13日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	140.65	▲1.66	▲6.35	▲7.10	▲6.86
ユーロ/円	155.97	▲2.29	▲5.09	▲5.72	▲2.44

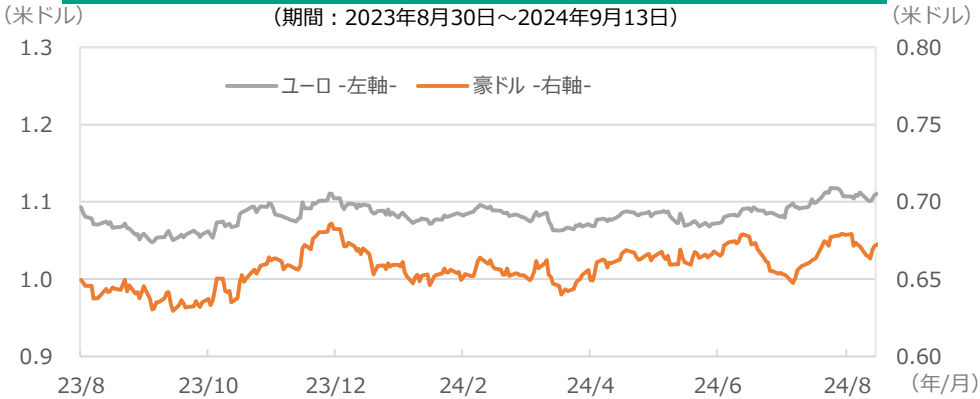
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202409_outlook.pdf

為替レートの推移（対日本円）



為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>